

各高等学校長 様

岩手県高等学校文化連盟放送専門部
専門部長 上 原 耕太郎
(岩手県立黒沢尻北高等学校長)

第 33 回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼

第 28 回岩手県高等学校放送新人大会の開催について(ご案内)

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、下記のとおり標記大会を開催いたしますので、貴校 放送(視聴覚)部(委員会)等の大会参加についてご高配を賜りますよう、お願い申し上げます。

記

- 1 日時 平成 22 年 11 月 9 日(火) 9:00～17:00
- 2 場所 岩手県民会館 中ホール他 〒020-0023 盛岡市内丸 13-1 電話 019-624-1171
- 3 その他

開催要項・参加手続き、ならびに制作・審査規定については、別紙をご覧ください。

参加申込書・各種様式等は、放送専門部のウェブサイトからダウンロードしてください。

<http://www2.iwate-ed.jp/housou/>

大会事務局 岩手県高文連放送専門部事務局

〒020-0053 岩手県盛岡市上太田上川原 96

盛岡市立高等学校 鈴木勇二

y-suzuki16@mor-c.iwate-ed.jp

電話 019-658-0491 fax. 019-658-0883

<http://www2.iwate-ed.jp/housou/>

第 33 回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会兼
第 28 回岩手県高等学校放送新人大会 開催要項

1. 目的

豊かな創造性と未来への展望を持つ人間としての高校生に対して、校内放送をとおり番組の制作技術の向上、表現力、創造性の開発および、豊かなコミュニケーションと文化活動の振興を図る。大会は、岩手県高等学校総合文化祭の一環、ならびに東北高等学校放送コンテストおよび全国高等学校総合文化祭放送部門の予選として実施する。

2. 主催

岩手県教育委員会・岩手県高等学校文化連盟

3. 共催

株式会社テレビ岩手・株式会社 IBC 岩手放送

4. 主管

岩手県高等学校総合文化祭実行委員会・岩手県高等学校文化連盟放送専門部

5. 後援

岩手県高等学校長協会・岩手県高等学校教育研究会・盛岡市教育委員会・報道各社

6. 日時

平成 22 年 11 月 9 日(火) 9:00～17:00

詳細については、後日参加校に実施要項を送付する。

7. 会場

岩手県民会館 〒020-0023 岩手県盛岡市内丸 13-1
電話 019-624-1171

8. 開催部門とエントリー数

(1)アナウンス部門 各校 6 名以内

(2)朗読部門 各校 6 名以内

(3)オーディオピクチャー部門 各校 2 本以内

(4)ビデオメッセージ部門 各校 2 本以内

(5)ラジオキャンペーン部門 各校 2 本以内

(6)テレビキャンペーン部門 各校 2 本以内

9. 審査員

専門職審査員および教育職審査員による。

10. 表彰と上位大会推薦

(1)アナウンス部門・朗読部門

最優秀賞 1 賞状・副賞(楯)...

全国総文祭・東北大会推薦

優秀賞 2 賞状・副賞(楯)...

全国総文祭・東北大会推薦

優良賞 3 賞状...東北大会推薦

奨励賞 6 賞状...東北大会推薦

(2)オーディオピクチャー部門

最優秀賞 1 賞状・副賞(楯)...全国総文祭推薦

優秀賞 2 賞状・副賞(楯)

(3)ビデオメッセージ部門

最優秀賞 1 賞状・副賞(楯)

優秀賞 1 賞状・副賞(楯)

優良賞 2 賞状

全国総文祭推薦は、オーディオピクチャーの代表以外の上位 2 校とする

(4)ラジオキャンペーン・テレビキャンペーン部門

最優秀賞 1 賞状・副賞(楯)...東北大会推薦

優秀賞 2 賞状・副賞(楯)...東北大会推薦

優良賞 3 賞状...東北大会推薦

いずれの部門も、エントリー数によって表彰数を変更することがある。

11. 各種規定

制作・審査規定、各種様式等は、別に定める。これらは放送専門部のウェブサイトからダウンロードして用いること。

12. エントリー手続き・提出物

別表の一覧のとおりとする。エントリー後の変更は認めない。

13. その他

(1)この大会のために集められた個人情報(所属学校名、氏名、学年、性別、入賞者の成績)については、大会の実施、主催者に関連する記録物(印刷媒体、ウェブサイト、放送等)、大会成績の報道機関への提供以外には使用しない。

(2)使用著作物については、著作隣接権を含め、権利者の許諾を得るとともに、制作者の責任において権利関係を適切に処理すること。

(3)応募された番組などは、放送等で公開されることがある。制作にあたっては、番組に登場する著作物の著作者や出演者、協力していただいた方々などから、公開の承諾を得ておくこと。

別表 手続一覧

	内容・方法	締切
エントリー 手続き	参加申込書...放送専門部のウェブサイトからダウンロードし、メール添付で事務局に送付すること。 http://www2.iwate-ed.jp/housou/ 送付先: y-suzuki16@mor-c.iwate-ed.jp	10月19日(火) 正午必着
	参加料...各部門とも1名(1本)につき、1,000円。次の口座に学校名で振込む。 岩手(いわて)銀行 上田(うえだ)支店 普通 2023372 岩手県高等学校文化連盟放送専門部 専門部長 上原耕太郎(かんばらこうたろう) 振込手数料は各校負担、参加料の領収書は銀行発行のものとする。	
提出物	全部門の原稿または台本各3部 事務局に郵便等で送付する。費用は各校負担。 様式は放送専門部のウェブサイトからダウンロードすること。 http://www2.iwate-ed.jp/housou/ 送付先: 〒020-0053 盛岡市上太田上川原 96 盛岡市立高校内 高文連放送専門部事務局 鈴木勇二	11月8日(月) 正午必着
	番組4部門の作品等(CD・miniDVテープ等) 大会当日、部門の発表会場で提出する。作品本体とケースには、次の内容を記入すること。書式は指定しない。バックアップ(カセットテープ、VHS または S-VHS テープ)も持参のこと。 部門名・エントリー番号、学校名、番組名	11月9日(火) 会場に持参

理事ならびに引率顧問の皆様には、運営と審査を分担していただきます。

運営・審査をお願いする皆様には、当日の昼食を準備いたします。

実施要項(エントリー番号、係分担、日程の詳細等)は、エントリー確定後、連絡いたします。

大会事務局

〒020-0053 岩手県盛岡市上太田上川原 96

盛岡市立高等学校 鈴木勇二

y-suzuki16@mor-c.iwate-ed.jp

電話 019-658-0491 fax. 019-658-0883

<http://www2.iwate-ed.jp/housou/>

第 28 回岩手県高等学校放送新人大会 制作・審査規定 (10/4 改訂版)

9/29 の東北理事会による変更箇所は下線。音声メディアを CD に変更

1. アナウンス部門

(1) 内容 次のア、イのいずれかの規定による。

ア 第 58 回 NHK 杯全国高校放送コンテストの規定：自校の校内放送に使用するものとし、原稿を生徒が自作したものに限る。

イ 第 35 回全国高等学校総合文化祭(福島大会)の規定：郷土の話題を全国の高校生に伝える内容の自作原稿。なお、新入大会と東北大会では、静止画は使用できない。

(2) 規定時間 エントリー番号(エントリー確定後に参加校に連絡する実施要項による)と氏名(学校名を読まない)を読むこととし、それらを含め、1 分 10 秒以上 1 分 30 秒以内。

(3) 原稿様式 次のア・イにより作成する。

ア 表紙は様式 1-1、2 ページは様式 1-2、3 ページ以降は様式 1-3 による。

イ 原稿の大きさは A4 横を二つ折り・袋とじし、仕上り A5 縦判・右 2 カ所留めで、3 部作成する。

(4) 審査の視点 次のア、イに留意して 総合的に採点する。

ア 内容

(a) 素材の選び方は適当であるか

(b) 文章表現は適当であるか

イ アナウンスの技術

(a) 自然な発声で聞き手に伝わるようにアナウンスされているか

・発声・発音・マイクの使い方

(b) 正しく伝える抑揚表現ができているか

・内容把握・イントネーション・プロミネンス・アクセント

(c) 間(ポーズ)は適切か

・テンポ・ポーズ

(5) 予選

ア 出場者は、概ね 30 名ずつの会場に分かれて、エントリー番号順に発表を行う。

イ 各会場から上位同数、計 12 名を決勝に推薦する。

2. 朗読部門

(1) 内容 次のア、イのいずれかの規定による。いずれの場合も作品の改変は認めない。

ア 第 58 回 NHK 杯全国高校放送コンテストの指定作品の中から 1 編を選び、自己の表現したい部分を抽出して朗読する。

「風立ちぬ・美しい村」堀辰雄(新潮文庫、収録作品のいずれも可、原稿には短編名を記載し、発表時に述べること)

「夏目家の福猫」半藤末利子(新潮文庫)

「雪沼とその周辺」堀江敏幸(新潮文庫、収録作品のいずれも可、原稿には短編名を記載し、発表時に述べること)

「オペラ座の怪人」ガストン・ルルー著、長島良三訳(角川文庫、指定された訳者のみ)

「おくの細道」松尾芭蕉(現代語訳不可、出版社不問)

イ 第 35 回全国高等学校総合文化祭の規定：郷土にゆかりのある作家または作品。なお、新入大会と東北大会では、BGM は使用できない。

(2) 規定時間 エントリー番号(エントリー確定後に参加校に連絡する実施要項による)、氏名(学校名を読まない)、著者名(訳者名は読まない)、書名(アは短編名)を読むこととし、それらを含め、1 分 30 秒以上 2 分 00 秒以内。

(3) 原稿様式 次のア・イにより作成する。

ア 表紙は様式 1-1、2 ページは様式 1-2、3 ページ以降は様式 1-3 による。

イ 原稿の大きさは A4 横を二つ折り・袋とじし、仕上り A5 縦判・右 2 カ所留めで、3 部作成する。

(4) 審査の視点 次のア、イに留意して 総合的に採点する。

ア 内容

(a) 作品の選定は適当であるか

(b) 朗読として適切な部分を抽出しているか

イ 朗読の技術

(a) 内容表現上、声の出し方や言葉の運びが自然で適切か

・発声・発音・マイクの使い方

(b)正しく伝える抑揚表現ができているか

・内容把握・イントネーション・プロミネンス・アクセント

(c)間(ポーズ)は適切か

・テンポ・ポーズ

(5)予選

ア 出場者は、概ね 30 名ずつの会場に分かれて、エントリー番号順に発表を行う。

イ 各会場から上位同数、計 12 名を決勝に推薦する。

3. オーディオビクチャー部門

(1)内容 郷土に関する話題を全国の高校生に伝える内容。

CD によるステレオ音声と JPEG 形式のデジタル静止画像を併用する作品とする。ドキュメンタリー、ドラマ等の手法は問わない。

(2)規定時間 5 分以内

(3)音声制作様式 次のア～ケにより制作する。

ア CD-R に CD-DA 方式(音楽CDと同じ形式) で録音する。
バックアップ用として同じ内容を録音したカセットテープを持参すること。

イ 音声 CD とケースには、エントリー番号(エントリー確定後に参加校に連絡する実施要項による)・学校名・タイトル・音声 CD であることを記載する(様式自由)。

ウ 再生は、ステレオで行う。

エ ドルビー等のノイズリダクションの使用は認めない。

オ 本編の最後に「制作は〇〇高等学校(放送部・委員会)でした」のクレジットコールを入れる。

カ クレジットコールを含め、1 つのトラックにまとめる。なお、クレジットコールには BGM や効果音をつけないこと。

キ 計時は本編の最初の音から 終わりのクレジットコールの「制作は〇〇高等学校(放送部・委員会)でした」の「た」の音までとする。

ク バックアップ用のカセットテープには、CD と同じ内容を、A 面の最初から録音する。リーダーテープにかからないよう留意のこと。

(4)静止画制作様式 次のア～オにより制作する。

ア 音声 CD とは別の CD-ROM に使用順の数字を付した JPEG ファイルを納める(例: 001.jpg 002.jpg …)。

イ 画像 CD-ROM とケースには、エントリー番号(エント

リー確定後に参加校に連絡する実施要項による)、学校名・タイトル・画像 CD であることを記載する(様式自由)。

ウ 静止画像は 50 画像以内、総容量 100MB 以内、サイズは XGA(1024×768 ピクセル)での投影とする。

エ 静止画はパソコンからビデオプロジェクタ 1 台で投影する。パソコンの操作は、発表校が行う。

オ 静止画の投影方法は次のとおり。

使用ソフト: Windows Picture and FAX Viewer

動作 OS: WindowsXP/Vista

使用方法

- ・CD-ROM のフォルダを開く
- ・1 枚目の画像を右クリック→「プログラムから開く」→「Windows Picture and FAX Viewer」
- ・1 枚目の画像表示後「F11」キーを押す
- ・画面右上の「一時停止」マークを押す
- ・カーソルを画面外に動かして表示されないようにする
- ・「→」または「Enter」キーで次の画像に切り替える
- ・終了時には「Esc」キーを押す
- ・WindowsXP/Vista 以外の OS の場合は Susie によること(www.digitalpad.co.jp/takechin/)

(5)台本様式 次のア～オにより作成する。

ア タイトルの文字は、JIS コードの範囲内の全角 15 文字相当以内とする。

イ 表紙は様式 3-1、2 ページは様式 3-2、本文は様式 3-3 による。

ウ d 最終ページは様式 4 により、使用著作物一覧を記入する。

エ 末尾に、音源使用許諾書、JASRAC の明細書、その他使用したすべての著作物について、使用の許諾を得たことを示す文書の写しを貼付する。

オ 台本の大きさは A4 横を二つ折り・袋とじし、仕上り A5 縦判・右 2 カ所留めで、3 部作成する。

(6)審査の視点 次のア、イに留意して 総合的に採点する。

ア テーマ

- ・学校をとりまく素材の中から適切なものを求め番組内容にテーマを効果的に表現しているか
- ・ラジオと静止画の特性を活かして作品に表現しているか

イ 制作技術

- (a)制作の手法
- (b)取材の方法や努力
- (c)企画構成
- (d)演出・編集
- (e)技術
 - ・録音・撮影の技術
 - ・アナウンスやナレーションの技術
 - ・音楽や効果音の使い方など

4. ビデオメッセージ部門

- (1)内容 郷土に関する話題を全国の高校生に伝える内容。
- (2)規定時間 5分以内
- (3)制作様式 次のア～カにより制作する。

ア miniDV 民生用，標準速度，音声は 16bit stereo または 12bit stereo 1，NTSC の 4:3(ハイビジョン不可)で録画した 1 本を提出する。テープの最初から録画すること。バックアップ用として同じ内容を録画した VHS または S-VHS のバックアップテープを持参する。

イ テープとケースには，エントリー番号(エントリー確定後に参加校に連絡する実施要項による)・学校名・タイトルを記載する(様式自由)。

ウ 再生は，標準速度，ステレオで行う。

エ ドルビー等のノイズリダクションの使用は認めない。

オ 本編の前後に 10 秒間ずつ 様式 5 のテストパターンを入れる。テストパターンは無音とする。

カ 計時は初めのテストパターンの終了時から，終わりのテストパターンの最初までとする。

- (4)台本様式 次のア～オにより作成する。

ア タイトルの文字は，JIS コードの範囲内の全角 15 文字相当以内とする。

イ 表紙は様式 3-1，2 ページは様式 3-2，本文は様式 3-3 による。

ウ 最終ページは様式 4 により，使用著作物一覧を記入する。

エ 末尾に，音源使用許諾書，JASRAC の明細書，その他使用したすべての著作物について，使用の許諾を得たことを示す文書の写しを貼付する。

オ 台本の大きさは A4 横を二つ折り・袋とじし，仕上り A5 縦判・右 2 カ所留めで，3 部作成する。

- (5)審査の視点 次のア，イに留意して 総合的に採点する。

ア テーマ

- ・学校をとりまく素材の中から適切なものを求め番組内容にテーマを効果的に表現しているか
- ・テレビの特性を活かして作品に表現しているか

イ 制作技術

- (a)制作の手法
- (b)取材の方法や努力
- (c)企画構成
- (d)演出・編集
- (e)技術
 - ・撮影・録音の技術
 - ・アナウンスやナレーションの技術
 - ・音楽や効果音の使い方など

5. ラジオキャンペーン部門

- (1)内容 指定するキーワードを題材とした番組。

ア 高校生らしい自由な視点からアピールする。

イ 内容や構成は自由とするが，学校生活のみならず，広く社会に視点を求めた高校生らしい切り口や主張のある作品が望ましい。

ウ 番組は，参加資格を有する自校生徒オリジナルのものであること。すでに発表・放送・出版されたものや，他の作品などからの脚色や改作は認めない。

エ 放送番組として不適切な内容や表現を含まないこと。

- (2)キーワード 「あこがれ」

- (3)規定時間 25 秒以上 30 秒以内

- (4)制作様式 次のア～ケにより制作する。

ア CD-R に CD-DA 方式(音楽 CD と同じ形式)で録音する。バックアップ用として同じ内容を録音したカセットテープを持参すること。

イ CD とケースには，エントリー番号(エントリー確定後に参加校に連絡する実施要項による)・学校名・タイトルを記載する(様式自由)。ただし，東北大会では指定の様式で CD-R に印刷する。

ウ 再生は，ステレオで行う。ただし，東北大会ではモノラル(L+R)で再生する。

エ ドルビー等のノイズリダクションの使用は認めない。

オ 最初に「ラジオキャンペーン部門」「作品名」の順でクレジットコールを入れたのち、3 秒後に本編を開始する。

カ 本編の最後の音から 3 秒後に「制作は○○高等学校(放送部・委員会)でした」のクレジットコールを入れる。

キ 前後のクレジットコールを含め、1 つのトラックにまとめる。なお、クレジットコールには BGM や効果音をつけないこと。

ク 計時は本編の最初の音から 終わりのクレジットコールの「制作は○○高等学校(放送部・委員会)でした」の「せ」の音までとし、その計測値から 3 秒を差し引いた値をもって再生時間とみなす。

ケ バックアップ用のカセットテープには、CD と同じ内容を、A 面の最初から録音する。リーダーテープにかからないよう留意のこと。

(5)台本様式 次のア～オにより作成する。

ア タイトルの文字は、JIS コードの範囲内の全角 15 文字相当以内とする。

イ 表紙は様式 2-1、2 ページは様式 2-2、本文は様式 2-3 による。

ウ 最終ページは様式 4 により、使用著作物一覧を記入する。

エ 末尾に、音源使用許諾書、JASRAC の明細書、その他使用したすべての著作物について、使用の許諾を得たことを示す文書の写しを貼付する。

オ 台本の大きさは A4 横を二つ折り・袋とじし、仕上り A5 縦判・右 2 カ所留めで、3 部作成する。

(6)審査の視点 次のア、イに留意して 総合的に採点する。

ア テーマ

・指定のキーワードを理解し、番組内容にテーマを効果的に表現しているか

・ラジオの特性を活かして作品に表現しているか

イ 制作技術

(a)制作の手法

(b)取材の方法や努力

(c)企画構成

(d)演出・編集

(e)技術

・録音の技術

・アナウンスやナレーションの技術

・音楽や効果音の使い方など

6. テレビキャンペーン部門

(1)内容 指定するキーワードを題材とした番組。

ア 高校生らしい自由な視点からアピールする。

イ 内容や構成は自由とするが、学校生活のみならず、広く社会に視点を求めた高校生らしい切り口や主張のある作品が望ましい。

ウ 番組は、参加資格を有する自校生徒オリジナルのものであること。すでに発表・放送・出版されたものや、他の作品などからの脚色や改作は認めない。

エ 放送番組として不適切な内容や表現を含まないこと。

(2)キーワード 「あこがれ」

(3)規定時間 25 秒以上 30 秒以内

(4)制作様式 次のア～カにより制作する。

ア miniDV 民生用、標準速度、音声は 16bit stereo または 12bit stereo 1、NTSC の 4:3(ハイビジョン不可)で録画した 1 本を提出する。テープの最初から録画すること。バックアップ用として同じ内容を録画した VHS または S-VHS のバックアップテープを持参する。

イ テープとケースには、エントリー番号(エントリー確定後に参加校に連絡する実施要項による)・学校名・タイトルを記載する(様式自由)。

ウ 再生は、標準速度、ステレオで行う。ただし、東北大会ではモノラル(L+R)で再生する。

エ ドルビー等のノイズリダクションの使用は認めない。

オ 本編の前後に 10 秒間ずつ 様式 5 のテストパターンを入れる。テストパターンは無音とする。

カ 計時は初めのテストパターンの終了時から、終わりのテストパターンの最初までとする。

(5)台本様式 次のア～オにより作成する。

ア タイトルの文字は、JIS コードの範囲内の全角 15 文字相当以内とする。

イ 表紙は様式 3-1、2 ページは様式 3-2、本文は様式 3-3 による。

ウ 最終ページは様式 4 により、使用著作物一覧を記入する。

エ 末尾に、音源使用許諾書、JASRAC の明細書、その他使用したすべての著作物について、使用の許諾を得たことを示す文書の写しを貼付する。

オ 台本の大きさは A4 横を二つ折り・袋とじし、仕上り A5 縦判・右 2 カ所留めで、3 部作成する。

(6) 審査の視点 次のア、イに留意して 総合的に採点する。

ア テーマ

- ・指定のキーワードを理解し、番組内容にテーマを効果的に表現しているか
- ・テレビの特性を活かして作品に表現しているか

イ 制作技術

- (a) 制作の手法
- (b) 取材の方法や努力
- (c) 企画構成
- (d) 演出・編集
- (e) 技術
 - ・撮影や録音の技術
 - ・アナウンスやナレーションの技術
 - ・音楽や効果音の使い方など

7. 審査員(全部門共通)

専門職審査員と教育職審査員の 5 名以上で行う。

8. 採点・講評(全部門共通)

(1) 部門の「審査の視点」に基づき、100 点法、1 点刻みで総合的に採点する。

(2) 採点のめやすは次のとおりとする。

20	30	40	50	60	70	80	90	100
悪い	普通	良い	大変良い					

(3) 各審査員は、得点一覧を、会場ごとに定める審査主査に提出する。

(4) 各審査員は、すべての発表ごとに、講評を記載する。

9. 得点集計および順位(全部門共通)

(1) 得点集計と順位

審査員の最高点と最低点を除いた合計点の高い順に順位を決定する。

(2) 順位決定の特例

合計点と同じ場合は、カットされた得点の高い方を上位とする。

(3) 審査会

最終的な順位決定は、部門ごとの審査員による審査会で行う。ただし、アナウンス部門と朗読部門の予選については、審査主査に一任する。

10. アナウンス部門・朗読部門決勝

(1) 決勝進出者は大会当日の午後に中ホールで発表する。

(2) 決勝のエントリー順は、無作為に指定する。

(3) 決勝審査では、予選の得点を参考にしない。

11. 規定違反(全部門共通)

(1) 規定違反は審査の対象としない。なお、重大な違反が判明した場合は、大会後においても賞を取り消すことがある。

(2) 計時の許容範囲は、アナウンス部門と朗読部門は ± 2 秒、番組 4 部門は ± 1 秒とする。

(3) アナウンス部門と朗読部門の決勝の規定時間違反に限り、失格とせず決勝進出のうちの最下位とする。

12. 講評・審査結果一覧(全部門共通)

(1) 講評用紙は、各校に配布する。

(2) CD・テープ等は、該当校に返却する。

(3) 審査結果一覧は、顧問に配布する。